

年 月 日		沿革の概要
明治6年	4月3日	今津村常源寺を仮校舎として今津小学校設立
明治15年	7月2日	出在家に校舎を新設（六角堂）、この日を創立記念日とする
明治6年	4月	今津第二小学校（現、津門小学校）創立につき、今津第一尋常高等小学校と改称
昭和8年	4月1日	西宮市に編入、今津尋常高等小学校と改称
昭和16年	4月	今津国民学校と改称
昭和22年	4月	今津小学校と改称
昭和40年	2月	六角堂復元移築完了
昭和48年	7月	創立百周年記念式典挙行・記念誌「今津物語」刊行
昭和57年	7月2日	今津小学校六角堂百周年記念式典挙行
平成5年	11月26日	文部省・西宮市教育委員会指定、道徳教育研究発表会
平成7年	1月17日	阪神・淡路大震災により臨時休校2週間、学校が避難所となる（5ヶ月間）
平成9年	4月	六角堂及び西校舎解体工事開始
	11月	西宮市教育委員会指定、障害児教育研究発表会
平成10年	10月	六角堂が「第7回・兵庫県さわやか街づくり賞（建築物部門）」受賞
平成12年	6月	土俵開き
平成19年	4月	伝え合う力を養う調査研究事業指定校（文部科学省・2年間）
平成21年	4月	西宮市教育委員会研究指定校（3年間）研究テーマ「ともに伸びる、確かな学びづくり」
平成22年	1月	教育連携協議会発足
平成23年	1月	阪神地区小学校国語教育研究大会(西宮大会)会場校
	7月	耐震工事(東旧校舎、西校舎)
	11月2日	西宮市教育委員会指定、研究発表会
平成24年	4月	西宮市教育委員会研究指定校（3年間）研究テーマ「生きて働く言語力を育てる」
	8月	津波避難用緊急出入口設置
	9・11月	140周年記念体育会・図工展開催
平成25年	12月	本館耐震工事終了
平成26年	10月31日	西宮市教育委員会指定、研究発表会

平成27年	4月	西宮市教育委員会研究指定校（3年間）研究テーマ「豊かな言語力を培い、確かな学力を育てる」
平成29年	2月17日	西宮市教育委員会指定、研究発表会
平成31年	2月15日	西宮市教育委員会指定、研究発表会
令和3年	1月	六角堂が兵庫県の「景観形成重要建造物」に指定される
	6月	六角堂が西宮市の「都市景観形成建築物」に指定される
令和4年	4月	第31代校長に行峯久徳が着任
	4月	学校運営協議会（コミュニティ・スクール）発足
	5月	今津小学校創立150周年記念事業実行委員会発足
令和5年	2月2日	西宮市教育委員会研究指定校（3年間）研究テーマ「仲間と共に創る主体的な学び」研究発表会
	7月2日	創立150周年記念式典挙行

## 校区の様子（こうくのようす）

今津は「酒に名高き今津郷」として古くから酒造りの町、そして今津浜を擁する風光明媚な漁村、酒の積み出し港として栄えた町である。現在は、学校の北側には阪神電車・国道43号線・阪神高速道路（神戸線・湾岸線）・名神高速道路インターチェンジ等、東西交通の大動脈が走っている。また、阪神今津駅周辺には商店街・飲食店街が広がり、国道沿いの各事業所とともに商業地域を形成している。南側には日本を代表する酒造工場が広い敷地を占め、今津港に続いている。今は海岸沿いには高層住宅が立ち並び、昔の面影は年を追うごとに消えつつある。

江戸時代から大観楼等の学塾が開かれたこの地域は、学問を尊ぶ気風があり、教育に対する関心も高かった。この気風を受けて、明治の学制発布でいち早く今津小学校が創立された。校舎新築に際しては、当時としては珍しい洋館様式の「六角堂」を擁するモダンな校舎が建設された。地域の学校教育に対する熱意と関心は現在も伝統的に受け継がれている。平成7年1月の阪神淡路大震災では学校・地域共に多大な被害を被ったが、新しい住宅や大規模マンションの建設などで、活気ある今津に復興してきた。

